

総合球技場検討委員会 第5回 資料

- 1 整備候補地の比較 [資料1]

平成28年11月24日

整備候補地の抽出

【資料 1】

【候補地選定における主な条件】

収容人数 約 2 万人を想定
敷地面積 約 9 万 m^2 （本体 3 万 m^2 + 駐車場 6 万 m^2 （約 2 千台分））を想定

リニア環境未来都市にあること（リニア駅から半径 4 km以内）
一団の用地取得が可能であること（住宅・事業所等が連坦していないこと）
リニア駅等公共交通とのアクセスに優れていることを基本とすること
県有地等（取得予定含む）の活用可能性があること
リニア開業時までには整備可能であること

【県民の意見を聞く会】
で寄せられた意見の反映

【交通影響評価】結果
の反映

上記条件から抽出した候補地案

リニア駅前（リニア駅周辺整備地内）
小瀬スポーツ公園周辺

整備候補地の概要

【資料 1 - 1】

候補地	リニア駅（リニア駅周辺整備地内） 甲府市大津町	小瀬スポーツ公園 甲府市小瀬町ほか
マップ	<p>リニア駅から4km以内のエリア</p> <p>リニア駅</p> <p>小瀬スポーツ公園</p>	

整備候補地の比較（概要）

【資料 1 - 2】

候補地		リニア駅前（リニア駅周辺整備地内）	小瀬スポーツ公園周辺	
		甲府市大津町	甲府市小瀬町ほか	
立地適性	現況	リニア駅周辺整備地内の農地	小瀬スポーツ公園周辺の農地	
	土地利用規制	市街化調整区域、農振農用地内	市街化調整区域、農振農用地内	
	アクセス性	リニア駅から	リニア駅前	距離約3.0km、車での移動時間：約5分 （計画中的新環状道路東落合ICを利用した場合）
		甲府駅から	J R 甲府駅・リニア駅間のバス交通の利用	主として路線バスを利用（公園周辺にバス停3箇所） 現在、試合開催日にはシャトルバスの利用も可能
		車でのアクセス	中央道スマートIC、新環状道路等を利用	小瀬スポーツ公園通り、けやき通りなど複数の道路を利用 将来は、新環状道路の利用が可能
イベント開催時の周辺交通への影響	駅周辺への駐車場の分散配置、甲府駅等とのシャトルバスの増便、一時的な出庫制限等により、試合終了時の大規模な渋滞の発生を抑制	シャトルバスの増便等により試合終了時の大規模な渋滞の発生を抑制		
用地取得	取得が必要となる面積	リニア駅周辺整備地外に必要な最小限の駐車場用地の確保を検討	約30,000㎡（本体分） ・整備地の形状等により取得面積は増減する	
	県有地等の活用（取得予定含む）	リニア駅周辺整備と一体で球技場本体及び駐車場を整備（アイメッセ駐車場の一部等を臨時駐車場として活用することも検討）	小瀬スポーツ公園駐車場（約2千台分）を利用	

整備候補地の比較（「あるべき姿」からの比較） 【資料 1 - 3】

総合球技場の あるべき姿の視点	リニア駅前（リニア駅周辺整備地内）	小瀬スポーツ公園周辺
立地	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅及び中央自動車道との直結により、県内外からの来訪者にとって非常に利便性が高く、広域からの集客力は高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、リニア駅から車で約5分（新環状道路利用を想定）と利便性が高まることで、リニア駅近郊における総合的なスポーツ拠点の主要施設として活用が図られる。
整備・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅周辺整備と総合球技場の整備が一体化することで財政負担の軽減につながる。 ・リニア駅直結の総合球技場としてのネーミングライツの価値が高まり、収益の増加につながることを期待できる。 ・リニア駅周辺の観光交流機能等との一体化を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小瀬スポーツ公園と一体的に管理運営を行うことで、効率化につながる。 ・総合的なスポーツ拠点にある総合球技場としてのネーミングライツの価値が高まり、収益の増加につながることを期待できる。 ・スポーツを中心とした機能を集約する。

整備候補地の比較（「あるべき姿」からの比較） 【資料 1 - 3】

総合球技場のあるべき姿		リニア駅前（リニア駅周辺整備地内）	小瀬スポーツ公園周辺
視点	項目		
機能	【集客力・経済波及効果】	・リニア駅を核とする交通結節点としての利便性を活かし、スポーツの他、大規模イベント等の開催により集客力を高めることで、交流の拡大が見込まれる。	・リニア駅近郊における総合的なスポーツの拠点となるとともに、大規模イベント等の開催により集客力を高めることで、交流の拡大が見込まれる。
	【発信性】	・リニア駅と球技場が一体的なランドマークとなり、山梨ならではの特色ある施設として、国内外への情報発信性を有することが期待できる。	・本県を代表する総合的なスポーツの拠点として、国内外への情報発信性を有することができる。
	【防災機能】	・リニア駅に近接した防災拠点として、防災機能を強化できる。	・防災活動拠点である小瀬スポーツ公園と一体化することで防災機能を強化できる。

「総合球技場について意見を聴く会」 県民からの主な意見

平成28年10月24日開催 出席した県民62名

【資料1 - 4】

建設場所

〈リニア駅周辺〉

日本一駅から近い球技場、リニア駅にある唯一の球技場としてアピール
リニア駅とスタジアムはランドマークであり集中配置することで効果の増加
県外からのアクセスの良さ、世界と「つながる」ことをアピール

〈小瀬スポーツ公園周辺〉

現駐車場の活用で、新たな用地取得を抑制
全国でも有数の集約型スポーツ公園

〈その他〉

JR甲府駅周辺
JRの駅から徒歩15分程度(酒折、石和温泉、竜王、韮崎)
東下条スポーツ広場
山梨大学病院付近の身延線沿線
甲斐市の丘陵地帯
富士山、南アルプス、八ヶ岳の見える場所 など

規模

2万人程度
2万人から2万5千人程度
2万5千人から3万人程度
身の丈に合った施設

交通

〈駐車場〉

十分な駐車場の確保
観光客やアウェイサポーター用の大型駐車場の確保 など

〈交通機関〉

パークアンドバスライドによる移動手段の確保
甲府駅とのアクセスの検討

併設施設・機能

〈商業施設等〉

観光、宿泊案内施設、ショッピングセンターや飲食店
フットサル場などのスポーツ施設
老人ホームや保育所
イベントや会議ができるスペース など

〈防災施設〉

非常時の避難拠点として、避難所、備蓄倉庫、スペース(駐車場)の確保

〈その他〉

有名アーティストによるコンサートの開催
子どもが遊べる芝生広場 など

球技場の設備

〈試合観戦〉

臨場感を優先し、ピッチを狭く、スタンドに勾配
座席は個席で、前後にスペース

〈環境配慮〉

太陽光発電など自然エネルギーを活用

〈その他〉

全面に屋根を設置
全ての人に優しい設備 トイレの確保 授乳室等の設置 音響の充実
訪日外国人への配慮 など

建設の時期

できるだけ早期に建設